

兵庫県水産技術センターだより

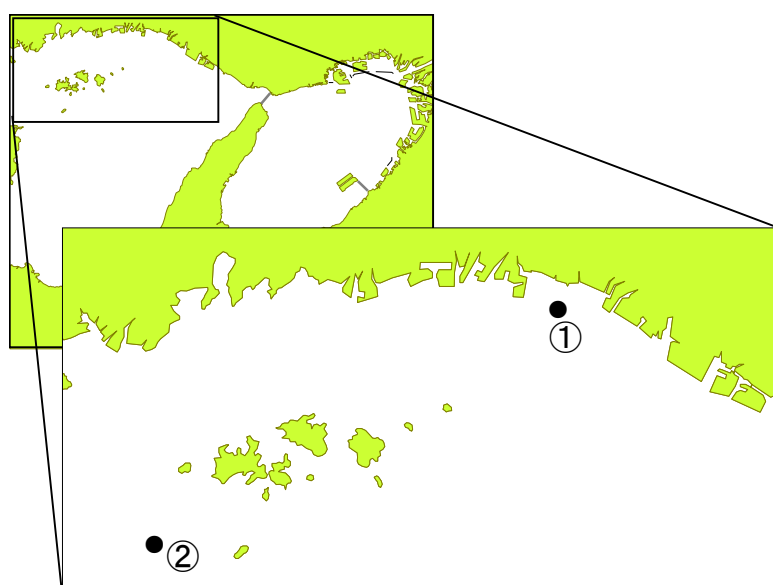
赤潮情報 AK-02-15 号 (播磨灘北部：臨時)

令和2年8月25日発行

8月25日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部：臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・播磨灘北部海域で、魚類等を斃死させる有害種のコクロディニウム ポリクリコイデスによる小規模なパッチ状の着色(茶褐色～赤褐色)が確認されました。本種の赤潮(着色水塊)は、風や海流の影響を受けやすく、移動が速いことが知られていますので、周辺海域でも注意が必要です。
- ・着色域では活魚の運搬や漁船の航行に十分に注意ください。また、高密度化した海域(港湾内等)では赤潮消滅後の酸素欠乏にもご注意ください。今後とも海況や海色の変化にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制： 10細胞/ml	警戒体制： 100細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制： 500細胞/ml	警戒体制： 5,000細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制： 50細胞/ml	警戒体制： 500細胞/ml

※コクロディニウム ポリクリコイデスについては本県では基準密度を設定していませんが、千～数千細胞/mlを上回ると漁業被害が発生する恐れがあるとされています。

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オクタ	シャットネラ・グロブサ	シャットネラ・ベレキュロサ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ヘテロガマ・アガオ
① (姫路東部～高砂沖)	0	0	0	0	0	0	0	5,375	0
② (西島南西沖)	0	0	0	0	0	0	0	3,300	0

※本調査は、航行中の船舶からの着色域目視確認・採水した海水を検鏡調査したものです。

【今後の調査予定】 次回は9月1～2日に定期調査(播磨灘)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報 AK-02-15号」として発行予定です。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 宮原、中桐)
Tel : 078-941-8602 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>